

## 9・11 以来最大のニセ旗作戦がいま起きている

### 深層国家がロシアとの戦争を決意している

【訳者注】ここに書かれているような裏の真実を知らないで、テレビに出てきた数秒の、堂々と大声で証言する前 FBI 長官 Comey の姿を見、新聞の「追い詰められたトランプよ、さあどうする」といった調子の記事を読むならば、たいていの人は、トランプに非があると思うだろう。メディアの力は大きく、メディアの罪は大きい。

そこで論者の言いたいのは、どこから見ても公式見解とは矛盾する 9・11 テロのように、この“ロシア疑惑”も、どんなに疑わしくウソが証明されても、強引に押し通され、最後には戦争へと持っていかれるだろう、それほど彼らは切羽詰まっている、ということのようである。そして、これを阻止するには、ブロガーが協力して、真実を明らかにする記事でインターネットを埋め尽くす以外にないと言っている。9月23日（秋分の日）が重要な分岐点になるとも言っている。信ずる信じないは自由だが、この問題の超専門家ともいべき SOTN の言葉は軽視できないだろう。

State of the Nation

June 10, 2017



深層国家の3つの顔

正確な答えを要する重要な質問：

なぜコーミーは情報公聴会に出てくる必要があったのか？

なぜなら、彼は深層国家の彼の主人に強制されたから。  
では、なぜ深層国家はコーミーを舞台に立たせて、  
あらゆる方面から激しい砲火を浴びさせたのか？

ここで現実問題を確認しておこう。ジェームズ・コーミーは、先週木曜日、証言台に立つことによって絶対に何も得るものはなく、失うものだけだった。実際、上院情報委員会に姿を現すことで、彼は全く回復不能なほどに信用を失ってしまった。

コーミーは、上院議員と自分自身によって、職業的に完全に失墜しただけでなく、再び政府の仕事に就くことはないだろう。彼が自分を犯罪者にする効果があまりにも圧倒的だったから、もはや再び法執行部局では働けないだろう。もちろん、深層国家には、いつでも彼を待っているポストはあるだろう。「James B. Comey: 深層国家の主席エージェント」

<http://stateofthenation2012.com/?p=74500>

ところで、なぜ彼の深層国家の主人たちは彼を立てたのか？

それは、彼らのつくり上げた、偽“ロシア選挙ハッキング”物語を“本物化”するためには、国家のトップ法執行官僚の権威を利用するのが一番よく、これが利用できる最後のチャンスだったからである。

深層国家がコーミーに見たのは、すべてのつくり上げた証拠をひそかに知っているはずのFBI長官を利用して、ロシアについてのフェイク物語を、絞れるだけ搾り取る最後のチャンスだった。たとえコーミーが、職業的にも個人的にも、解雇予定者に入っているとしても、彼が主となってつくり上げた、ロシアについての偽物語を、重みをつけて推進することは、より重要なことであった。

トランプが大統領であるために、深層国家は、コーミーを通じて、自分たちが権力を行使するための、これが最後のチャンスと考えた。ロシアを悪者にするためには、FBI長官の影響力と重みが必要だった。そしてコーミーのあらゆる受け応えは、2016年選挙をハックするロシアの謀略という偽物語を、更に推進しようとする彼の熱心さを反映していた。——これで話は終わり。

情報委公聴会からの見方：

ほとんどすべての上院議員が、質疑応答の自分の持ち時間を使って、虚構のロシアの“侵略”についてコーミーに質問した。そのすべての場合に、コーミーは、クリスマスツリーのよう

に真っ赤に上気して、はっきりと大声で、「イエース！」と肯定した——ロシアはまさに、上院議員の質問されたそのことをやったのです。絶対的確信をもつコーミーの側に、躊躇や疑いの一瞬さえ見られなかった。

コーミーの証言によれば、彼の確信は、(1) ロシアはアメリカの民主主義を攻撃した、(2) ロシアは 2016 年の選挙戦をハックした、(3) ロシアはアメリカの選挙人制度を覆した、(4) ロシアの選挙システムのハッキングは、選挙結果に影響を与えたかもしれない、(5) ロシアのハッカーたちは、アメリカの選挙機械装置を侵害した、(6) ロシアは、クレムリンの指令によってアメリカの生活様式を攻撃した、等。

どの場合にもコーミーは、彼の主張を支えるわずかの証拠も示さなかった。どの時点でも彼は、ロシアのハッキングの、たった一つの行為のどんな証拠も指摘しなかった。コーミーがやったのは、ただ、初めから決まっているロシアの犯罪について、訊ねる情報委の各メンバーに、同意してうなずき、首を振ることだけだった。しかしこの公聴会を通じて、彼の示した見え見えの態度は、ウソと 2 枚舌のそれだった。

この現在進行中の心理作戦の真のポイントは何か？

それは巨大なニセ旗作戦である！

ロシアに対する滑稽なニセの申し立ての背後には、実は多くの目的がある。しかし、この透明なニセ旗作戦を用いる目的の最大のものは、何よりもまず、ロシアに対する戦争を正当化することである。下のリンクをご覧願いたい——

「確認事実：DNC（民主党全国委員会）が CrowdStrike の“ロシア人”創始者にカネを払い、そのサーバーをハックさせて、ロシアに罪を着せられるようにした！」

<http://stateofthenation2012.com/?p=74500>

深層国家は、“我々人民”が、挑発によらない彼らの侵略戦争を、始め、またエスカレートするために、何十年にもわたって実行されてきた、多数のニセ旗攻撃に気づいていることを、知っている。彼らは特に、インターネットが、グローバルな発表の場を根本的に変えたことを知っている。そこで彼らは、新しい、非暴力的な形のニセ旗作戦——ニセの選挙ハッキング——を思いついた。

ロシアがアメリカの民主主義を攻撃していると、ニセの非難をすることによって、深層国家のエージェントたちは、さらに多くのアメリカ市民を、ロシアとの戦争という誤った計画に引き付けようとしている。これが、コーミーをダシにを使って、このような道化芝居をやっ

みせた理由である。彼の子供のような応答と、ロシアについての証明のない陳述は、彼らが彼に求めたすべてであった。彼は小学生のように振舞い、先生や、自分と同じウソつきの上院議員の気に入ることなら、どんなことでも言おうとした。

### 犠牲者としてのコーミー

コーミーは、この情報公聴会に出席するしかなかった。そして彼は明らかに、それを大袈裟にやるように命令されていた。そして昔からのコーミー流にその通りやった。その結果、彼はひどく叩かれ血を流すことになり、彼の政治生命の残りは、生活保護しかないであろう。

彼の前例のない大犯罪と失態から考えると、彼は精一杯うまくやった。彼が生涯を通じて隠ぺいしてきた、ハイレベルの犯罪活動の深さと幅を考えれば、これまで無事に通り抜けてこられたのは全くラッキーだった。

明らかに彼の戦略は、できる限り悪事を“無邪気に”認め、法務省を強制して起訴させるかもしれない敵方の上院尋問者の、意欲を殺ぐことだった。

コーミーは現在、あまりにも起訴資格十分の男だから、特に彼が自分を臆病だと言っていることを考えれば、怯えているに違いない。しかし、このような恐怖を、地上最大の公開の場で認めるだけでも、かなりの勇気を要することである。

### 第3次大戦

ロシアについての虚偽物語、特に 2016 大統領選挙に関する部分は、深層国家のはらわたの中で作られたものである。ヒラリー・クリントンやジョン・ポデスタのような偽者たちは、民主党全国委員会を利用して、このフェイク物語を、自分たちの画期的敗北の言い訳として、広く遠く拡散させるのに利用した。このようにして民主党の、ロシアとプーチンへの憎しみは、意図的に計画されて大いに強化された。

このシオニスト - アングロ・アメリカ枢軸によって計画された難局は、ロシアが他のニセ旗攻撃をやったと、ある国際的な共同組織が更に非難したことによって、更に悪化した。プーチンがロシアの深層国家からの独立を宣言して以来、彼はヒトラー以来、他のどんな世界のリーダーよりも悪魔化されてきた。もともと、この個人的・政治的攻撃のキャンペーンは、ロシアと EU が、自然の経済的同盟を結ばないようにするために、企まれたものだった。ロシアとドイツの政治的同盟を妨害することが、深層国家の最優先課題であった。

その優先課題は、しかし、ドナルド・トランプの予期しなかった選出と相まって、アメリカとロシアを引き離す方向へシフトした。アングロ・アメリカン覇権主義者にとって、独口協定以上に危険なものは一つしかない。それは、トランプとプーチンが真の平和取引に合意することである。そういうことになれば、国際銀行家どもが何世紀も実行してきた、永続する戦争経済を維持する希望が、砕け散るであろう。

「Stratfor（情報配信社）チーフが、シオニスト - アングロ・アメリカンの世界制覇計画を暴く」 <http://stateofthenation2012.com/?p=22223>

したがって、ニセ旗テロ攻撃と、罪をロシア（と BRICS 同盟）にかぶせるパターンは、ロシア嫌いが世界的に高まって、国家共同体を、第 3 次大戦の熱い局面へと突き動かすまで続くであろう。深層国家のエージェントは、今、必死になって New World Order アジェンダの最終局面を実現させようとしている。“一世界政府”を樹立することが彼らの究極の目標で、それは彼らが、第一次と第二次の世界大戦を、それぞれ国際聯盟と国際連合を樹立するのに利用したのと同じである。

## 戦争と/または平和

この見たくもない歴史物語全体が、今その最終段階にかかっている。

アメリカとロシアは、トランプ - プーチン協定と永続する協調関係へと進むだろうか？ それとも、この関係は破壊され、不協和と更なる戦争の方向に進むだろうか？

トランプとプーチンが何とか保っている、非常に壊れやすい（そして感じられない）緊張緩和状態は、深層国家の姦計によって、一瞬のうちに吹き飛ばす可能性がある。だから、人類の問題を監視し続けている人々にとって、将来のすべてのニセ旗テロ攻撃が、起こらないようにすることが絶対に必要である。その一つが次の攻撃を正当化して、第 3 次大戦へとつながるかもしれない。ニセ旗テロすべての背後にいるのは、実は誰なのか？

<http://themillenniumreport.com/2017/05/who-is-really-ruling-the-world/>

2017 年の残りは、確実に、ロシアとアメリカの関係の、多くの新しいねじれや回転をもたらすであろう。今進行中の、世界的な地政学的チェスボード上の動きや策動は、8 月 21 日以後、急激に強化されるであろう。9 月 23 日になれば、世界が永続的平和に向かうか、それとも戦争屋が勝利するかを、世界全体が知るだろう。

「2017 年 9 月 23 日：画期的な分岐点の一日が、皆既日食に続く」

<http://cosmicconvergence.org/?p=18973>

深層国家を、その真の姿である謀反者として暴くことが、今ほど重要な時はない。そして事あるごとに、彼らの謀反の策謀や計略を暴くことが必要である。このようにすれば、グローバリストは力を失っていくだろう。そして彼らの **New World Order** を最終的に挫折させることができる。

こんなふうに考えてみてほしい：——もし代替メディアが、2001年9月11日より前に、9・11 ニセ旗テロ攻撃の警告によって、ブログ世界を充満させていたら、彼らはそれでも、それを決行しただろうか？ そして WTC ビルやビルディング7を倒壊させておいて、逃げられたらだろうか？

これまでにニセ旗攻撃は数限りなく行われてきた。現在、我々が直面しているのは、“偽ロシア選挙ハッキング”というニセ旗攻撃で、これは容易く消滅しそうもない。あまりにも多くの強力な団体がそこに関与していて、この偽物に大きな利害関係をもっている。誰でも、もし大きなプレイヤーで、警告を発しようとして決心するような者がいれば、彼は永遠に、政治的に水のない領域へ追放される。その結果として、人類のすべては隅に追い込まれてしまった。もし時の権力が意志を通すならば、それは戦争である。反対に、もしロシアに対する、このニセ旗作戦が十分に暴き出されるなら、第3次世界大戦は避けられ、犯罪者たちは適切に検挙されるであろう。我々ブロガーの使命は大きい！